

2018年8月6日

各 位

会社名	ベイビュー・アセット・マネジメント株式会社
代表者名	代表取締役兼 CEO 八木 健
金融商品取引業者	登録番号 関東財務局長(金商)第 397 号
加入協会	一般社団法人 投資信託協会 一般社団法人 日本投資顧問業協会
問い合わせ先	管理部 岩田 浩明 03-5210-3342

「セレベラム・マシン・ラーニング・ファンド（外国私募投資信託）」申込受付開始に関するお知らせ

ベイビュー・アセット・マネジメント株式会社（代表取締役兼 CEO：八木健 以下、「当社」）は、この度、2017年12月に日本における独占的な運用業務提携（再委託）契約を締結した Cerebellum Capital, LLC（以下、「Cerebellum Capital 社」）が実質的に運用するケイマン籍外国私募投資信託「セレベラム・マシン・ラーニング・ファンド・ユニット・トラスト（Cerebellum Machine Learning Fund Unit Trust、以下「当ファンド」）」を2018年7月18日に設定し、本日より日本の投資家の皆様からの申込受付を開始しましたのでご案内申し上げます。当初申込期間は8月24日までとなっており、2018年8月末から運用開始となります。なお、お申込みは募集人数を限定した上で、当社にて受付けております。

当ファンドは、Cerebellum Capital 社の「人間の判断を一切介さない“純粋な AI 運用”」により行われ、世界の資産運用業界でも極めて稀な、完全にコンピューター（マシン）の判断による投資を実行します。AI が 1,000 を超える多数の運用モデル群を自動的に生成し、その有効性の検証と共に将来の予測精度が最も高いと判断される 48 のモデル抽出も AI が行う同社の手法は、人間の主観によるバイアスを完全に排除し、変化する市場環境に対応して新しいモデルへ常に入れ替えていくことが可能です。当ファンドは、この先進的なマシン・ラーニングを用いた、米国株式を投資対象とするマーケット・ニュートラル運用で、ボラティリティを抑えリスク調整後リターン（シャープ・レシオ）の最大化を目指します。また今後は、投資対象を欧州及び日本を含むグローバル株式にも拡大していく予定です。

また、Cerebellum Capital 社は、米国 カリフォルニア州 サンフランシスコに本拠を置く AI 運用を専門とするブティックハウスで、世界屈指の AI エキスパートである Dr. アストロ・テラーと Dr. デビッド・アンドレによって2008年に創業されました。Dr. アストロ・テラーは、X（旧 Google X）社の現 CEO として自動運転やスマート・グラス等の開発プロジェクトをリードする一方、Cerebellum Capital 社の AI 運用開発に携わっています。CEO 兼 CTO である Dr. デビッド・アンドレは、マシン・ラーニングをはじめ AI に関する幅広い領域で豊富な知見を有し、65 本を超える論文を発表する AI 分野の第一人者です。二人は、30 年に亘る共同での AI 研究を通じ、時系列データの分析・予測をテーマとし、その成果を資産運用に生かすべく Cerebellum Capital 社を設立しました。同社には取締役として、Facebook 社マーケティング部門責任者で広告表示アルゴリズム開発を担当するロバート・ゴールドマン、元 Goldman Sachs 社 CTO 兼パートナーで同社のプログラムトレーディング・システムの開発等を指揮したマイケル・ダブノ等、AI 分野の最先端にいる人材が参画しています。また、当社と運用業務提携関係にある、米国屈指の独立系マルチ・ブティック型運用会社 Victory Capital Management 社が2016年末に Cerebellum Capital 社へ戦略的に出資し、同社 CEO のデビッド・ブラウンも取締役に就任しています。

当社は、株式、債券、マルチ・アセット等のアクティブ運用に特化した独立系ブティックハウスのパイオニア、そしてリーダーとして、創業以来 20 年に亘り洗練された運用商品を提供して参りました。おかげさまで、年金基金を含む機関投資家から個人投資家に至るまで、幅広い顧客層より高い評価を頂き、約 4,000 億円（2018年6月末現在）の契約資産を擁する日本最大級の独立系運用会社へと着実に成長を遂げることができました。今後も引き続き、高品質なクライアント・サービスを提供する独自のプラットフォームの上に、自社運用商品に加え、Cerebellum Capital 社を含む米国の秀逸な運用ブティックによる商品群を取り揃えることで、日本初の本格的なマルチ・ブティック型運用会社を目指す所存でございます。

以上

投資信託に係る留意事項

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資をされる際には目論見書、商品説明書、信託約款および契約締結前交付書面をご覧ください。

手数料等について

○申込時に直接ご負担いただく費用※詳しくは販売会社もしくは申込手数料を記載した書面にてご確認ください。

－申込手数料 ……上限 3.78%(税抜 3.5%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額

○換金時に直接ご負担いただく費用

－信託財産留保金 ……上限 0.3%。

○投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

－信託報酬 ……純資産総額に対して上限 年率 2.268%(税抜 2.1%)

－実績報酬(実績報酬が設定されているファンドに限る)

……基準価額がハイ・ウォーター・マークを上回った場合、当該基準価額と当該ハイ・ウォーター・マークの差額の 21.60%(税抜 20.0%)

※ハイ・ウォーター・マークは実績報酬の費用計上時に見直されます。

－その他の費用等

- ・ファンドの組入有価証券またはデリバティブ取引等の取引の際に発生する委託手数料および委託手数料に係る消費税等相当額等の有価証券取引に係る費用
- ・売建て(ショート)実行に伴う品貸料等の費用
- ・保管費用、借入金の利息、融資枠の設定に要する費用およびその他管理事務等(含、受益権管理)の費用

※その他の費用等はファンドの運用による取引量等に応じて異なりますので、事前に料率や上限額等を表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、当社が運用するすべての投資信託のうち、徴収する夫々の費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、夫々の投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に良く目論見書、商品説明書、信託約款および契約締結前交付書面をご覧ください。

本資料は、プレスリリースの為に、運用会社であるベイビュー・アセット・マネジメント株式会社が作成したものであり、特定の取引や商品あるいは有価証券の勧誘ないし推奨を目的としたものではありません。本資料は目的の如何を問わず、その全部または一部を当社の許可なしに複製・複写・転記する事、及び第三者に開示することを禁じます。